



《 国産大豆 》

19年産入札終了、落札率62%

8月に実施された19年産国産大豆の最後の入札取引結果は、日本特産農産物協会の発表によりますと、上場数は2,454トンで、落札が1,530トン、落札率が62.4%、平均落札価格は、前月比60kg/85円ダウンという結果となりました。先月よりは、値下がりしたものの、18年産と比較すると落札率、平均落札価格とも高いまま終了となりました。(前年8月の落札率は19.9%、前年8月の平均落札価格より60kg/594円高値)

19年産国産大豆の合計の入札取引結果は、上場数は98,486トンで、落札が58,879トン、落札率が59.8%でした。20年産国産大豆の入札は、11月に開始の予定となります。

弊社では、新穀が出回るまでの間、十分に大豆を確保しておりますが、お早目のご注文をお願い致します。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	575 t	466 t	81.0%
12月	4,730 t	3,239 t	68.5%
1月	12,031 t	8,118 t	67.5%
2月	13,844 t	8,481 t	61.3%
3月	14,802 t	9,455 t	63.9%
4月	14,676 t	7,986 t	54.4%
5月	14,446 t	6,377 t	44.1%
6月	12,455 t	6,987 t	56.1%
7月	8,473 t	6,240 t	73.6%
8月	2,454 t	1,530 t	62.4%
累計	98,486 t	58,879 t	59.8%



《 産地情報 》

弊社の平成20年産大豆契約栽培先であるJA秋田おばこ農協から8/6現在の大豆生育状況が送られてきました。

大仙市太田地区のリュウホウです。今のところ順調に生育しております。

今後の天候が気にかかります。



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



《 北米産大豆 》

‘08年産大豆生産高やや減少

アメリカ農務省は、8/12に‘08年産の世界の大豆生産予想を2億3736万トンと発表し、前年比0.2%減産の見込みとなりました。（‘07年産は、2億1823万トン）これは、ブラジルで150万トン、米国で75万トン減少し、逆にアルゼンチンで150万トン、インドで40万トン増加見通しとなったためです。

また、作付面積、収穫面積ともに増加したものの、大豆の生育遅延を背景に、平均単収が、1.1ブッシェル減少したことが影響しております。（今月40.5Bu/A 前月41.6Bu/A）

* 1Bu（ブッシェル）=約27.2kg 1A（エーカー）=約0.4ヘクタール

カナダ統計局は、7/31時点の‘08年産主要農産物の生産動向調査を発表し、カナダ大豆は、316万7千トンの見込み（前年比17.5%増加）となりました。

大豆相場は下落するも、一進一退

ドル高、原油価格の下落、天候の改善（適度な降雨）により、シカゴの大豆相場は、8/11に期近で、12ドル15セントまで下落しました。しかしながら、生育遅延、作況悪化により9/3現在期近で13ドル01セントまで上昇しております。今後も、天候相場で、一進一退が続くものと思われます。



《 中国産大豆 》

‘08年産大豆生育状況（2008年8月）

概ね現地の天候は、晴天が続き、時々乾燥状態を緩和する降雨が記録されました。このため土壌水分が改善され大豆の生育に最適な状態を保っています。

現在、鞘の成熟具合などの生育状況は昨年と比較すると非常に順調に進捗しており、このままいけば豊作は十分に期待できそうです。

中国の大豆輸入状況

現在、中国は世界最大の輸入国となっており、オリンピック前の4月から7月にかけて、並外れた輸入量を記録しています。

‘07/‘08年度、中国における大豆の輸入量は3790万トンと前年同比32%の増加、‘08/‘09年度の輸入量は3850万トンと予想されています。

今年の世界的大豆価格の高騰、及び‘07年産の不作により、国家備蓄在庫をも消費した中国は、備蓄の確保を進めると考えられ、日本の輸入量も相応の影響を受けるものと思われます。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>